

第3期第11回 帯広市産業振興会議 議事要旨

日時：平成26年10月27日（月）17:00～

場所：帯広市役所10階 第5A会議室

I. 開 会

(会長)

- ・前回会議において市長との方向性の一致を確認した。
- ・今必要なのはビジョンの見直しであり、具体的な各論については今後とし、本日はビジョンの見直しについて議論したい。

II. 協 議

■帯広市産業振興ビジョン見直し（原案）について

(事務局)

- ・資料に基づき事務局より説明
- ・ビジョンにおいては中小企業者と小規模事業者を一括して論じている。市内企業の大多数は小規模事業者であることから、中小企業という表現には当然小規模事業者も含んでいる。
- ・条例には市長と中小企業者との密接な関わりが挙げられており、今後必要に応じて出席を求めて行くが、市長が不在でも市長の視点は事務局を通じて申し上げていく。

(会長)

- ・前回議論となった十勝検定については商工会議所と調整済みと考えて良いか。

(事務局)

- ・調整済み

(会長)

- ・小規模事業者の扱いについては、ビジョン策定当初から全てを含んだ意味合いであり、現状でいいとの事務局からの説明だがどう考えるか。

(委員)

- ・今回の法整備の趣旨として、一括りではダメだというメッセージがこめられていると感じている。
- ・小規模企業が多い中で、中小企業といわれた際に自分とは関係ないと認識する経営者は多い。

- ・ 自覚を高める意味合いから小規模企業に光を当てるということが必要では。

(委員)

- ・ ビジョンを見た人がどのように捉えるかという観点が大事。
- ・ 見た人が理解できるかどうかという観点から、入れても良いのでは。
- ・ 個人経営の視点では、自社は中小企業ではなく個人経営と言っている人は多い。

(委員)

- ・ 大都市の中小企業とは意味合いが異なる。企業といえばほぼ全てが中小企業のため、わざわざ文言を入れなくてもいいのでは。

(会長)

- ・ どちらももっともな意見だが、十勝に住む皆さんが自分の問題として意識することが大事と思う。読んだ人が自分の問題として認識できるようにまとめたい。

■今後のスケジュールについて

(事務局)

- ・ 委員会、パブリックコメントを通じて決定する。
- ・ 今後は具体的な事業の検討、進捗状況についても確認していく。

(委員)

- ・ 前回会議で市長の話を聞いて思ったが、市長の考えを踏まえた上で議論を進める必要がある。市の幹部は市長の意見を理解しているはずなので、市の考えとしてこれをやりたいといったような意見を言っていたらいい。
- ・ 民間でできることも含めてすり合わせていけるため、そのように進めていきたい。

Ⅲ. その他

(相談役)

- ・ 中小企業、小規模企業という問題はあるが、表現として零細企業といった言い方は注意したい。
- ・ 一番大事なものは、会議において出た内容を行動に移すことが必要。失敗してもいいので実行するといった考えを念頭に発展を願う。

(事務局)

- ・ 委員から市の意見を発信するべきとの意見をいただいた。こだわりと情熱を持って一緒に進めていきたい。

(オブザーバー)

- ・ 計画というものは絵に描いた餅が多いが、実現に向けた動きをひしひしとを感じる。
- ・ 会議所としてもビジョンが事業所に役立つように、協力を惜しまず協力したい。

(オブザーバー)

- ・ビジョンの中でも財団の活用が謳われている。
- ・財団は皆様のための機関なので大いに活用いただき、地域から新しいビジネスチャンスと一緒に作りたい。

(オブザーバー)

- ・札幌と比べても十勝の方が一歩二歩進んでいると感じる。

(会長)

- ・条例制定から民間企業が絡み、その分責任がある。今後も情報を共有し、動けるように進めていきたい。

IV. 閉会

【次回開催】

日時：平成 26 年 12 月 16 日（水） 10：00 より

場所：帯広市役所 10 階第 5B 会議室